

第40回 中四国精神保健福祉士大会

香川大会 2025

2025.
11.1土
-11.2日

MHSW『わたし』とRe:born

#こうありたい #どうなりたい #どうありたい？

大会ホームページ



Instagram



KAGAWAMHSW

【日時】 2025年 11月 1日（土）～ 11月 2日（日）

【場所】 サンポートホール高松（高松市文化芸術ホール）

〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1

【主催】 香川県精神保健福祉士協会・第40回中四国精神保健福祉士大会香川大会実行委員会



開催のご挨拶

このたび、第40回という節目の会となる中四国精神保健福祉士大会を香川県で開催できますことを光栄に感じております。中四国各県の皆様はもとより、全国から多くの精神保健福祉士の皆様にご参加くださいますようお願い申し上げます。中四国精神保健福祉士大会は、県を超えて、世代を超えて、切磋琢磨し、語り合い、学び合い、仲間との繋がりからエネルギーをもらえる大会として、中四国9県の結束を深めながら、途切れることなく40年という長き年月に渡って受け継がれてきました。

第40回大会のテーマは「MHSW『わたし』とRe:born #こうありたい #どうなりたい #どうありたい?」です。前回第31回香川大会では「PSW『わたし』と誇り～私たち はこうありたい～」をテーマに、誇りを持った精神保健福祉士として、あるべき姿を考える機会となりました。今回大会は特に若手の方々にも参加しやすい大会にしたいと考え、「こうありたい!」と言い切れる強い信念や自信がなくてもいい、「こうありたい、どうなりたい、どうありたい?」と迷い、葛藤を抱えながらも、それを言葉にして、仲間と語り合うことで、より誇れるMHSW『わたし』をめざし、Re:born=新たなスタートを切れる大会にしたいと考えております。

大会全体を通して、精神保健福祉士としてのこれまでのスピリット、大事にしてきたことを守りつつ、自分の仕事の楽しさ、魅力、素晴らしさ、そして誇りを再確認して、わくわくするような大会となることを願い、準備を進めているところです。うどん県より、お接待のところで皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第40回中四国精神保健福祉士大会 大会長 詫間 佳子



大会プログラム

大会1日目 11月1日(土)	
12:00	受付開始
13:00~13:30	開会式
13:30~15:00	基調講演 「私らしく生きる ~沖田×華さんの生き方から学ぶもの~」 講師 沖田 ×華 さん
15:00	休憩
15:10~16:00	シンポジウム 「こんなにやらかしましたが、ワーカーしてます。 ~試行錯誤の先にある支援のかたち~」
16:00	休憩
16:10~17:00	柏木昭先生追悼企画 × 「かかわり」の継承
17:00~17:10	事務連絡
17:10~18:00	中四国連絡会
18:30~20:30	懇親会

大会2日目 11月2日(日)

9:30	受付開始
10:00~12:15	分科会Ⅰ 「専門性」中四国各県協会員による自由演題発表
	分科会Ⅱ 「MHSW人生すごろくを通して、理想のワーカー像を見つけよう！！」
	分科会Ⅲ 「子育てとソーシャルワーク ～語り合いエンパワメントしよう～」
	分科会Ⅳ 「スーパーバイザーミーティング～SVにおける疑問や葛藤の共有～」
	分科会Ⅴ 学生交流企画「それ本当？障害者のリアル、ワーカーのリアル」
12:15~12:30	休憩
12:30~12:45	閉会式



基調講演

11月1日(土) 13:30~15:00

「私らしく生きる ～沖田×華さんの生き方から学ぶもの～」

講師： 沖田 × 華 さん (漫画家)

聴き手： 詫間 佳子 (第40回中四国精神保健福祉士大会 大会長)

私たち精神保健福祉士は、生きづらさを抱える人々が「自分らしく生きる」ことを支えることができるよう、その支援を行っている。しかし、ふと立ち止まり、「私は私らしく生きているだろうか」と自問することがある。支援者である前に、私たちも一人の人間であり、生活者である。日々の中には喜びもあれば苦しみもあり、思うようにならない現実と向き合いながら、それでも誰かの力になろうと懸命に働いている。その中で、自分の人生を後回しにし、置き去りにしていることもあるかもしれない。そうした問いに向き合うことは、支援のあり方だけでなく、自分自身の生き方を見つめ直す大切な機会となる。

今回の基調講演では、漫画家・沖田×華さんを迎え、「私らしく生きる～沖田×華さんの生き方から学ぶもの～」と題してインタビュー形式で話を伺う。発達障害という特性と向き合いながら、作品を通じて社会と関わり続ける姿は、支援者としての私たちに深い気づきと共感をもたらす。自分自身の「私らしさ」と改めて向き合う時間としたい。

講師紹介

富山県出身。1979年2月2日生まれ。

小学生の時に、医師よりLD(学習障害)とADHD(注意欠如・多動性障害)の診断を受ける。看護師・風俗嬢を経て2008年漫画家デビュー。『透明なゆりかご』(講談社)で、第42回講談社漫画賞(少女部門)を受賞。『不浄を拭うひと』(ぶんか社)が第25回文化庁メディア芸術祭マンガ部門・審査委員会推薦作品として選出。現在『不浄を拭うひと』(ぶんか社)、『お別れホスピタル』(小学館)など多数の作品を連載中。



©沖田×華



シンポジウム

11月1日(土) 15:10~16:00

「こんなにやらかしましたが、ワーカーしてます。

～試行錯誤の先にある支援のかたち～」

シンポジスト： 中四国各県協会推薦中堅者3名(調整中)

司会： 中山 昌代 氏 (香川県精神保健福祉センター)

精神保健福祉士の実践現場では、自身の思いが空回りしてしまうことがある。特に経験の浅い時期は、善意や意気込みが先行し、クライアントの自己決定の保障が十分にできなかったり、誰のための支援なのかが見えなくなったりしてしまうことも珍しくない。だが、その経験は決して恥じるべきことではなく、成長への重要な一歩である。本シンポジウムでは、経験年数5年以上10年未満の先輩精神保健福祉士3名が、自らの実践の中で直面した困難や課題を率直に語る。彼らは遠い存在の「すごい先輩」ではなく、同じ道を歩み、多くの学びを積み重ねてきた仲間であることを伝える。こうした経験の積み重ねが、精神保健福祉士としての支援の質を高め、真の成長につながる。クライアントとともに歩みながら、自身の実践を振り返り続ける姿勢こそが、支援者としての成長の核心である。

新人の皆さんはもちろん、中堅・ベテランの皆さんにも、自身の実践を見つめ直す貴重な機会としていただきたい。私たちは挑戦を恐れず、クライアントと共に試行錯誤を繰り返しながら精神保健福祉士として成熟していく。ここに集うすべての仲間とともに、その歩みを分かち合い、これからの成長への希望を新たにしたい。



柏木昭先生追悼企画×「かかわり」の継承

11月1日(土) 16:10~17:00

対談者： 井上 牧子 氏 (目白大学 教授)

富島 喜揮 氏 (四国学院大学 教授)

司会： 齋中 康人 (第40回中四国精神保健福祉士大会香川大会 実行委員長)

「かかわり」とは、精神保健福祉士としての支援者の姿勢であり、あり方そのものである。私たちがクライアントとどう向き合い、どのような姿勢で支援を行うかは、その根底にある思いが支援の質を決定する。日本精神保健福祉士協会名誉会長の柏木昭先生は、この「かかわり」の重要性を強く教えてくださった。先生の言葉と実践は単なる技術ではなく、私たちの中で生き続け、日々の支援に大きな影響を与え続けている。柏木先生は支援者としての歩み方と役割の果たし方を常に問いかけている。中四国大会は柏木先生との深い縁がある。第1回大会の基調講演をお願いし、それ以来、多くの仲間が先生の教えを受け継ぎ、活動を続けてきた。第40回大会の節目にあたり、改めて先生の思いを次世代に繋げる機会を設ける。今回の対談には、柏木先生の弟子である精神保健福祉士二名を招き、その教えをどのように受け継ぎ実践しているかを語っていただく。支援の方法は変わることがあっても、「かかわり」の本質は決して色あせない。私たちは支援者としてクライアントとどう向き合い、支援を積み重ねていくかを常に問う。この対談が深い学びとなり、柏木先生の思いを確実に次世代へ手渡すきっかけになることを願う。

1

分科会Ⅰ

「専門性」 中四国各県協会員による自由演題発表（4題）

座長： 廣江 仁 氏 （鳥取県 社会福祉法人 養和会 理事長）

発表者： 調整中

精神保健福祉士(以下、MHSW)が働く場は、学童期から老年期に渡る幅広い年齢層の中で、学校、矯正、医療、地域、行政、施設等、多種多様化している。それぞれの現場において、クライアントや求められることは違うけれども、MHSWの価値や倫理は共通するものである。とは言え、日常実践では、職場の特性に応じて求められることが違い、その期待に応えようと日々に埋没する中で、MHSWとしての自分が「こうありたい」「どうなりたい」「どうありたい」のかを見失うことはないだろうか。自身の業務を確立させつつも、MHSWとしての葛藤を抱えることはないだろうか。

本分科会においては、幅広い専門領域で働くMHSWの実践を知り、それぞれの職場での業務を築き上げる中で、「業務のおもしろみ」、「やりがい」、「ワーカーアイデンティティ」、「MHSWとしての地位の確立」などの発表を行う。それらを聴講することで、自身の業務について振り返り、「MHSWとしての私」をふり返るきっかけとなるだろう。経験年数が少ないMHSWには、多領域へ視野を広げることで、MHSWの多大な可能性を知ることを期待している。そして、「MHSWとしての私」の明日への再生(Re:born)に繋げたい。

2

分科会Ⅱ

「MHSW人生すごろくを通して、理想のワーカー像を見つけよう!!」

対象： 経験年数1～5年の方、中堅～ベテランの参加可能

定員： 100名程度

形式： グループワーク

オリジナルの「MHSW人生すごろく」を活用し、仲間との対話を通じて、自分自身が目指す“理想のMHSW像”を描く分科会とする。キーワードは「対話」「楽しさ」「創造」「成長」。

ゲーム形式のすごろくには、クライアントの主体性を尊重する支援の価値観や、日々の葛藤に向き合う問いかけ、さらにはMHSWとして、そして一人の人間としてどう生きるかを考えるヒントが散りばめられている。

経験年数が少ないMHSWにとっては、今後の自分の進む方向を見つける機会に。中堅・ベテランの方にとっては、初心を振り返り、次世代に伝えたい想いや経験を再確認する時間に。語り合いながら、「こんなMHSWになりたい」「こんなふうに働いていきたい」といった思いを共有し、明日からの実践へとつながる“気づき”と“意欲”を育む場とする。

3

分科会Ⅲ

「子育てとソーシャルワーク～語り合いエンパワメントしよう～」

対象： 誰でも

定員： 80名程度

形式： グループワーク

話題提供： 井内 忍 氏（徳島県 相談支援事業所フルール）

高橋 有理佳 氏（香川県 障害者地域生活支援センターほっと）

子育てと仕事の両立で悩んだり、しんどくなったりしたことはないだろうか？実際に子育てに追われる中で、専門職としての自己研鑽も難しい状況がある。しかし、子育てと仕事の両立はしんどいことばかりではないはずだ。クライアントを生活者の視点で捉える専門職であるからこそ、自身の子育ての経験がソーシャルワークの中で活きたり、ソーシャルワーカーとしての新しい自分の発見につながったりするのではないだろうか。

本分科会ではグループワークを通して、子育てと仕事の両立の仕方や子育てがソーシャルワークに与える相互作用について話し合う。その中で、専門職としての自己研鑽の在り方や両立していくためのヒントを得て自身の成長につなげることを目指す。多くの方に参加してもらい、子育てや日々のソーシャルワークについて語り合い、明日から子育ても仕事も前向きに取り組んでいけるエンパワメントの分科会である。

4

分科会Ⅳ

「スーパーバイザーミーティング ～SVにおける疑問や葛藤の共有～」

対 象： スーパービジョンを行なっているスーパーバイザー
これからスーパービジョンを行う予定のある方

定 員： 30名

スーパービジョン(以下、SV)は、自身を用いて支援を展開する精神保健福祉士にとって、専門職としての成熟を支える不可欠な研鑽の機会である。定期的に自らの立ち位置や視点、支援者としてのあり方を振り返ることで、専門性の向上と成長が促される。SVを担うスーパーバイザー(以下、SVR)は、こうした視点や姿勢を整理する場を成立させる役割を担うが、その実践には「この進め方でよいのか」「事例検討に偏らずにSVとして成立させるにはどうするか」「他のSVRはどうしているのか」といった、さまざまな疑問や葛藤が伴う。

本分科会では、グループワークを通じて、SVRの抱える思いや疑問、工夫、やりがいなどを共有し、明日からのSV実践に役立つ気づきや視点を獲得する機会とする。

5

分科会Ⅴ 学生交流企画

「それ本当？障害者のリアル、ワーカーのリアル」

対 象： 精神保健福祉を学ぶ学生

定 員： 30名程度

形 式： グループワーク

話題提供： NPO法人岡山マインド「こころ」代表理事 多田伸志氏、当事者の皆様

MHSWを目指す学生にとって、ソーシャルワーク実習(以下、実習)は、福祉分野への就職意識にポジティブに影響しており、福祉分野での就労をめざした理由では、「社会で重要な仕事だと思ったから」、「人の役に立ちたい」といったことが、日本ソーシャルワーク教育学校連盟が行った『進路意向等アンケート調査結果(現役学生 5,700 人の進路意向)』(2023年2月7日)で報告されている。

ただ、学生は、MHSWの専門性を習得する機会である実習に対して多種多様な課題を抱えており、この課題克服こそが専門性を有したMHSWの育成と人材確保の鍵となると言っても過言ではない。たとえば、「当事者とどのようにコミュニケーションを取れば良いのか」、「支援する者として、何かしなければならぬ」など、当事者と直接接したことがないことからくる不安やパターンリズムにもとづく義務感などが克服課題としてあげられる。このような学生が有する課題克服は、将来MHSWを目指す学生のみならず、私たち現場MHSWや養成校教員の課題であるともいえる。

学生交流企画では、当事者と現場MHSWを招いて「当事者のリアル」、「MHSWのリアル」、「学生のリアル」を共有し、精神保健福祉のおもしろさを探り求め、さらには学生の有する課題解決の一助とすることを計画している。

大会ホームページ



問い合わせ先



【大会事務局】医療法人社団三愛会 三船病院
医療相談室 担当 大石

〒763-0073 香川県丸亀市柞原町366番地

E-mail: cyuushi40@gmail.com

TEL:0877-23-2341 (代) FAX:0877-23-2344



KAGAWA ☆ MHSW ☆ PRESENTS

SANUKI

Party night

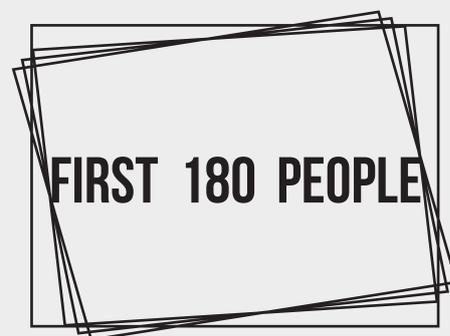
2025.11.1 ◆ 18:30 ~ 20:30

RIHGA HOTEL ZEST TAKAMATSU

3F DIAMOND

DRINK ◆ FOOD ◆ TALK

PRICE ¥ 8000



第40回 中四国精神保健福祉士大会 香川大会 お申込みのご案内

「第40回 中四国精神保健福祉士大会香川大会」は大会事務局様からのご依頼に基づき、大会参加に関わる各種申込手続きを、東武トップツアーズ(株)高松支店が担当させていただくことになりました。大会の成功に向け精一杯のお手伝いをさせていただきます。多数のお申込を心よりお待ちしております。

東武トップツアーズ株式会社 高松支店
支店長 村上 淳司

大会参加登録について(旅行契約に該当しません)

大会開催期日: 2025年11月1日(土)~11月2日(日) 2日間

大会開催会場: サポートホール高松

〒760-0019 高松市サポート2-1 高松シンボルタワー・ホール棟
(アクセス:JR高松駅より徒歩約3分)

(1)日程	【1日目】	2025年11月1日(土)		
	大会	13:00-17:10		(会場:サポートホール高松)
	懇親会	18:30-20:30		(会場:リーガホテルゼスト高松 3F ダイヤモンド)
	【2日目】	2025年11月2日(日)		
	大会	10:00-12:45		(会場:サポートホール高松)

(2)参加費	●大会参加費	会員	7,000円(不課税)
		非会員	8,000円(不課税)
		学生	2,000円(不課税)

※会員とは、各県精神保健福祉士協会の会員、公益社団法人日本精神保健福祉士協会の構成員を指します。

●懇親会会費	お一人様あたり	8,000円(不課税)	(先着:180名!!)
●大会参加登録費	お一人様あたり	550円(税込)	

※大会参加費・懇親会会費については大会事務局からの依頼に基づき、東武トップツアーズ(株)高松支店が代行收受を行います。

※参加登録の手数料お一人様につき550円(税込)を大会参加登録費として收受いたします。

※申込後、お取消しの場合は、当社にメールにてお申し出ください。

※ご入金後のお取消につきましては、ご返金できかねます。予めご了承ください。

ご宿泊について（東武トップツアーズ(株)の募集型企画旅行です）

- 宿泊設定日:2025年11月1日(土)1泊
- 最少催行人員:1名
- 添乗員:同行いたしません
- 旅行代金はお一人様1泊あたり朝食付き、税金・サービス料を含む代金です。

【宿泊施設・旅行代金一覧表】

お一人様1泊あたり朝食付き、税金・サービス料込

番号	ホテル名	部屋タイプ	食事条件	旅行代金 (お一人様あたり)	会場までの所要時間	備考
①	JRホテルクレメント高松	シングル	1泊朝食	22,000円	JR高松駅 徒歩1分	
		コンパクトツイン (1室2名利用)	1泊朝食	19,500円		コンパクトツイン(23.8㎡)
		ツイン (1室2名利用)	1泊朝食	21,340円		ツイン(31.9㎡)
②	JRクレメントイン高松	シングル	1泊朝食	16,700円	JR高松駅 徒歩1分	
		ツイン (1室2名利用)	1泊朝食	15,300円		
③	高松東急REIホテル	シングル	1泊朝食	17,600円	JR高松駅 徒歩7分	
④	東横INN高松兵庫町	シングル	1泊朝食	10,000円	JR高松駅 徒歩7分	喫煙部屋の案内あり
⑤	ハイパーイン高松駅前	シングル(A)	1泊朝食	9,800円	JR高松駅 徒歩3分	シングルA(13.5㎡)
		セミツイン (1室1名利用)	1泊朝食	9,800円		セミツイン(13.5㎡)
		シングル(B)	1泊朝食	9,300円		シングルB(12㎡)
⑥	ザ・セレクトン高松	シングル	1泊朝食	9,350円	JR高松駅 タクシー4分 ことடன்片原町駅から徒歩5分	

※ご予約は先着順とさせていただきますので、お早めにお申込みください。

※部屋数には限りがございます。ご希望のホテルが満室の場合は、他のホテルをお選びください。

※全てのホテルが満室になった場合は、宿泊募集を停止致しますので、ご了解ください。

※東横INN高松兵庫町の朝食は、施設による無料サービスです。

※ツインを希望される場合は、申込時に同室者名をご記入ください。

※宿泊プランに含まれるお食事が不要な場合でも、返金はありません。

※基本的には禁煙のお部屋にてご用意となります。

※当日のお申し込みは受付できませんので、必ず事前にお申し込みください。

※ホテルへの「直接の変更・または取消」はお取扱いできません。必ず弊社へご連絡ください。

※宿泊先の駐車場が必要な場合は、宿泊施設に直接お問合せ下さい。

お申込・お支払い方法について

1. お申込みについて

(1) お申込み方法

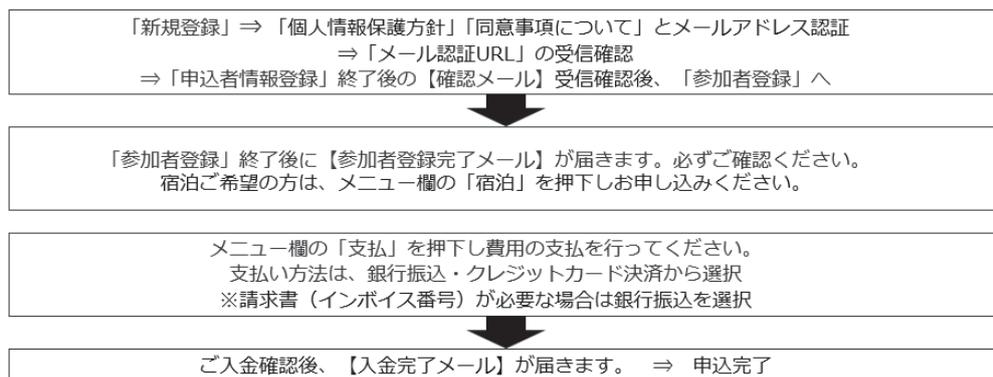
インターネット(Webサイト)でのお申込みのみといたします。

【WebサイトURL】

https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/fukusi_kagawa2025/



お申込みの流れ



※お電話でのお申込みは一切お受け出来ません、予めご了承ください。

(2) お申込み期間

2025年9月1日(月)12時 ~ 9月30日(火)12時まで

※お申込みは先着順となりますのでお早めにお申し込みください。

※2日目の分科会は、ご希望の分科会をお選び下さい。

(分科会は先着順になります。ご希望の分科会が定数満了の場合は、他の分科会をお選びください)

※手話通訳が必要な方は、個別で事務局までお申し込みください。

2. お支払いについて

(1) 支払い方法

①銀行振込

②クレジットカード決済 クレジットカード情報をWebサイト上にてご入力ください。

※振込手数料はお客様ご負担とさせていただきます。

※請求書は大会参加申込ホームページより、各自出力をお願いいたします。

(2) 支払期日

2025年10月6日(月)まで

3. 書類について

事前の書類発送はございません。各書類については以下をご確認ください。

大会参加券、分科会参加券、懇親会参加券、各請求書、領収書が必要な方はWeb上にて発行してください。

※宿泊券はございません。ホテルでは、氏名をお伝えのうえ手続きしてください。

変更・取消について

- お客さまのご都合により変更・取消が発生した場合、当社営業日・営業時間内に東武トップツアーズ(株)高松支店大会受付デスクまでメールにてお申し出ください。
尚、お電話でのお申し出は誤手配の恐れがあるためお受けいたしかねます。
(営業時間外に到着しましたご連絡は、翌営業日の取扱いとなります。)
- 取消日とは、お客様が当社の営業日・営業時間内に解除する旨をお申し出頂いた時を基準と致します。
- 大会期間中の11月1日(土)、2日(日)は支店の休業日にあたるため、変更・取消については後日ご案内致します、緊急連絡先にご連絡ください。

【宿泊取消料】 宿泊について契約成立以降に解除される場合は、1泊ごとに下記の取消料を申し受けます。

取消日	旅行開始日の前日から起算して			旅行開始日 前日の解除	旅行開始日 当日の解除	旅行開始後の解除 又は無連絡不参加
	21日目 までの解除	20日目～8日目 までの解除	7日目～2日目 までの解除			
取消料	無料	旅行代金の20%	旅行代金の30%	旅行代金の40%	旅行代金の50%	旅行代金の100%

※旅行開始当日12時までに取消のご連絡が無い場合、無連絡不参加として取扱い100%の取消料を申し受けます。

【大会参加・懇親会取消料・大会参加登録費】※旅行契約に該当しません。

※ご入金後のお取消につきましては、ご返金できかねます。予めご了承ください。

個人情報の取扱いについて

旅行申し込みの際に提出頂いた個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただく他、お客様がお申込みいただいた旅行において運送、宿泊機関、手配代行者等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

お申込み、お問合せ

【旅行企画・実施】

東武トップツアーズ株式会社 高松支店

観光庁長官登録旅行業第38号

日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員

〒760-0023 香川県高松市寿町2-2-10 高松寿町プライムビル8階

【電話番号】050-9002-5462

【FAX】087-851-6535

【メールアドレス】kagawa40@tobutoptours.co.jp

【営業日】平日 月～金(土日祝日休業)

【営業時間】9:30～17:30

総合旅行業務取扱管理者:村上 淳司

担当:村上・檀原・大住



旅行業公正取引
協議会 会員



【客国25-300】

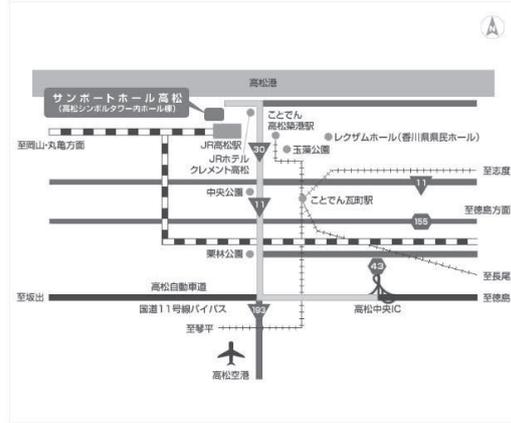
会場および宿泊先のご案内

●サンポートホール高松までのご案内(大会会場)

近隣案内図



交通アクセス



●懇親会場&ホテル案内図



- ①JRホテルクレメント高松 ②JRクレメントイン高松 ③高松東急REIホテル
- ④東横INN高松兵庫町 ⑤ハイパーイン高松駅前 ⑥ザ・セレクトン高松